

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 2 月 23 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3671300436
法人名	社会福祉法人 健祥会
事業所名	グループホーム笑顔毎日
所在地	徳島県阿南市羽ノ浦町中庄大地10 (電話) 0884-44-1801

評価機関名	徳島県社会福祉協議会
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地
訪問調査日	平成 21 年 2 月 18 日

【情報提供票より】(平成 20 年 12 月 15 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 8 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	20 人	常勤:19人、非常勤:1人、常勤換算:コスモス7人 すいせん6人 ひまわり6.65人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋建て	
	1 階建ての	1 階 部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費:6,000円、その他:実費
敷 金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有の場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	200 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 0 円
	または1日当たり		900 円

### (4) 利用者の概要 (平成 20 年 12 月 15 日現在)

利用者人数	27 名	男性	8 名	女性	19 名
要介護1	3 名	要介護2	7 名		
要介護3	13 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.6 歳	最低	62 歳	最高	103 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	生野外科胃腸科、富塚歯科医院
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は穏やかな田園風景の中にあり、玄関先や周辺には利用者と一緒に手入れした季節の花が満開に咲いている。天窗のある木造平屋の屋内は採光や換気に配慮し、明るくあたたかい雰囲気である。職員は地域の人々や近隣事業所と交流を図りながら、利用者を人生の先輩として敬い、互いに支え合いながら共に暮らしている。また年間行事や研修計画等のほか、運営に関する日常の記録を的確に整備し、職員間で情報を共有しながら理念の実践に向けて取り組んでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での課題である「地域密着型サービスとしての理念」、「理念の共有と日々の取り組み」、「食事を楽しむことのできる支援」、「鍵をかけないケアの実践」は、運営推進会議及び家族会において検討し、全て改善している。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>サービス評価の意義や目的を理解し、全職員で自己評価を行っている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2か月に1回開催し、行事等運営状況や外部評価結果の報告、改善課題の検討、防災訓練のあり方等について話し合いが行われている。議事録は全職員に回覧して共有し、運営に反映させている。会議メンバーは利用者、家族、民生委員、婦人会会長等地域から8名の方、地域包括支援センター職員、事業所の関係者によって構成されている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の要望等は、重要事項説明書に相談窓口を明記していることの説明や玄関への意見箱の設置、来訪時や家族会での言葉かけにより、気軽に言ってもらえるよう配慮している。得られた意見等は記録し、職員間で話し合っ運営に反映させている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>コンサートや秋祭り等の地域行事や法人の敬老会に参加している。事業所へは保育園児や中学生、ボランティアの来訪があったり、防災訓練に消防署からの指導や婦人会、老人会、民生委員の協力が得られたりしている。また近隣の事業所と運動会を開催するなど、地域との連携が図られている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営推進会議や家族会で地域密着型サービスの理念について検討している。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者や職員は毎朝朝礼で理念を唱和し、理念に基づいたケアの実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	コンサートや秋祭り等の地域行事や法人の敬老会に参加している。事業所へは保育園児や中学生、ボランティアの来訪があったり、防災訓練に消防署からの指導や婦人会、老人会、民生委員の協力が得られたりしている。また近隣の事業所と運動会を開催するなど、地域との連携が図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を理解し、全職員で自己評価を行っている。前回の外部評価結果は職員間での話し合いや運営推進会議で検討し、サービスの質の向上に活かしている。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月に1回開催し、行事等運営状況や外部評価結果の報告、改善課題の検討、防災訓練のあり方等について話し合いが行われている。議事録は全職員に回覧して共有し、運営に反映させている。会議メンバーは利用者、家族、民生委員、婦人会会長等地域から8名の方、地域包括支援センター職員、事業所の関係者によって構成されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者の入居相談や制度運用等については、市担当者と相談しながら連携を図っている。また報告書類は担当窓口を訪問して提出し、情報交換する機会を持っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時には必ず利用者の健康状態や暮らしぶりを報告し、体調の変化等は速やかに電話連絡をしている。2か月に1回「笑顔毎日便り」を家族に送り、利用者の生活風景を写真で伝えたり、新しい職員の紹介をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の要望等は、重要事項説明書に相談窓口を明記していることの説明や玄関への意見箱の設置、来訪時や家族会での言葉かけにより、気軽に言ってもらえるよう配慮している。得られた意見等は記録し、職員間で話し合って運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	各ユニットに職員を固定配置し、利用者や家族と馴染みの関係を築いている。やむを得ない職員の交代時には引継ぎを充分に行い、継続した支援が提供できるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修は年間計画をたて、職員が参加する機会を確保している。研修内容は職員会議で報告し、報告書は全職員に回覧して情報を共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国老人福祉施設協議会やグループホーム協会徳島県支部に加入し、情報交換したり勉強会に参加した際に交流したりしている。また近隣の同業者と芋ほりや運動会など合同行事を実施し、利用者同士の交流や情報交換を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に利用者や家族の方をホーム見学や行事に誘い、雰囲気を知ってもらうなどして安心、納得してサービスが開始できるように努めている。入居後も家族と相談しながらお茶や食事を一緒に楽しんでもらうなど、本人や家族、職員が徐々に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者を人生の先輩として尊敬し、利用者と支え合う関係づくりを大切にしている。調理の方法や味付け、伝統の行事や技など多くのことを教えてもらいながら、励ましや感謝の言葉をかけ合うなど、互いに支え合う関係が築かれている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は常に利用者の言動に意識を傾け、本人の思いや希望を知ることにも努め、家族と相談しながら本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	事前に利用者や家族から要望や意向を聞いたり、毎月のサービス担当者会議で職員のアイデアや意見を出し合い、本人主体の介護計画を作成している。計画は本人・家族の同意を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のモニタリングやサービス担当者会議で利用者の状態変化、家族の要望等を検討し、実情にそった見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制をとり、家族の状況に応じて病院への受診に看護師が付き添うなどしている。また認知症高齢者の家族の相談に応じる等柔軟な支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医と相談や報告の連携を密にし、訪問診療をお願いするなど、適切な医療を受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りに関する指針があり、終末期ケア対応について話し合いや同意がとられている。利用者の状態の変化に応じて随時、本人や家族の意思を確認しながら医師等関係者との連携を図っている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシー確保については契約書や重要事項説明書等に明記し、職員には雇用時や必要に応じて朝礼時に確認し合うなど徹底が図られている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの体調や気分、その人の持つペースに合わせてながら、ゆっくり会話や食事をしている。買い物や散歩、入浴等においても本人と会話しながら意向を確認して支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は利用者と一緒に食材の下準備や調理、盛り付け、片付け等を行い、食事中は味付けや食材などについて会話をしながら楽しめるよう支援している。水曜日の夕食は、利用者と相談しながら献立や買い物等を行い、食事がより楽しみとなるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は利用者の意思を確認しながら希望にそった支援をしている。夜間入浴の希望にもそえるよう職員を配置している。また菖蒲や柚子湯等を取り入れ、季節感等を楽しんでもらうよう工夫している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみや掃除、花づくり、生け花など利用者の経験や好み、喜び等その人にあった役割を職員と一緒に受け持ち合うなど、ともに楽しめるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望や天候に応じ、地藏尊や近隣への散歩、買い物、外食などに出かけている。また花見やコンサート、催し物の見学や参加など戸外に出かけられる支援をしている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は出入り口を開放し、利用者が外出しそうな雰囲気がある時には職員が見守りながらさりげなくいっしょに出かけたり、会話で気分の転換を図るなどして自由な暮らしを支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策マニュアルを作成している。年2回、市消防署の指導を得ながら夜間を想定して、通報や避難訓練などを実施している。訓練には運営推進会議委員が参加し、ホームの実情を理解したり、住民への通報方法等についての意見を出し合ったりして、地域との協力体制づくりの働きかけが行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量はチェック表により全職員が共有し、量の少ない方には嗜好品等で補っている。栄養の確保については、併設事業所の栄養士から指導を得ている。食材や食器なども工夫しながら、食が進む配慮がされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳敷きのあるリビングは南に面し、庭の花木や田園が眺められる。廊下等は天窓や障子からの採光で明るく、絵画や生花がぬくもりや生活感のある居心地よい共有空間をかもし出している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	机やテレビ、椅子、鏡、時計、カレンダー、写真、人形、花、手芸品など馴染みの物を持ち込み、それぞれの好みの部屋として、居心地よく過ごせるよう工夫されている。		